

東北森林管理局

## 山形森林管理署 もがみ支署通信

【令和5年度森林・林業技術交流発表会に向けて奮闘中です。】

本番形式での初練習。



同僚を前にした練習でも緊張感が。



【1月15日（月）】令和6年1月31日から2月1日にかけて開催される森林・林業技術交流発表会で発表する課題を最上支署会議室にて職員にお披露目しました（本番を想定した練習兼ねて）。

最上支署からの発表課題は、高齢級国有林高品質材「**高** **国** 前森スギ」供給2年目の取組と、無人航空機の技術者養成と署内及び林業関係者への支援体制の構築についての2課題を発表します。

各チームが取り組んできた内容を職員に披露するのはこの日が初めてとなり、本番形式に近くなるよう参加できる職員に声をかけ発表を聞いてもらいました。

一連の発表後には、聴講した職員から説明内容に対する意見や改善点などのアドバイスをいただきました。

残された時間は限られていますが、発表会本番に向けて、アドバイスを基に聴講してくれる方々に取組内容がより伝わるよう、原稿修正・スライド改良に鋭意奮闘中でございます。

【令和6年新春林政講演会が開催されました。】

会場は聴講者で満席。



森林業の講演に皆が注目。



大学の講義真柄の内容でした。



【1月23日（火）】山形県森林協会が主催する令和6年新春林政講演会に出席しました。

講演は、令和6年度に開学する東北農林専門職大学森林業経営学科長予定者である上智大学客員教授の柴田晋吾氏が講師となり、「森林業」の現代的意義と可能性と題し、講演されました。

要点としては、1. 「森林業」とは？（林業とはどう違い、どのような今日的な意義があるのか？）、2. 世界のトレンドは？、3. 日本での可能性、4. 「森林業」経営学科についてです。

林業といえば、山に木を植え、手入れを行い、成長した木を伐採して木材を生産するイメージがあるかと思います。

森林業は概念として、林業を起点とした森林資源のフル活用とされており、林業として行ってきた木材生産等に加え、多様な森林サービスを目的（森林サービス産業を含む）とするなど、森林の可能性を広げるビジネスのこのことの様です。

この森林業を学べるのが日本で唯一、東北農林専門職大学に設立される森林業経営学科とのことでした。

山形森林管理署最上支署では、開学する大学とも連携し、人材育成に向けた技術指導・支援を行っていきます。



山形森林管理署 最上支署  
〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11  
TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

